

このまちにアナタのいい場所つくりませんか？

神田警察通り わい社会実験 2016

どんなライフスタイルやワークスタイルが
実現できるかを考える
ミニ社会実験&オープンワークショップ
トークセッション&ワークショップ

2016.11.24^{THU} — 25^{FRI} **無 料**

24^{THU} | ミニ社会実験 & オープンワークショップ
11:00 ~ 15:00

25^{FRI} | トークセッション & ワークショップ
18:30 ~ 21:00

将来の神田警察通りを車中心から人中心の
通りに変え、周辺にお住まいの方や働く方
にとっての、未来のライフスタイルやワーク
スタイルを考えるため、トークセッション&ワ
ークショップと小さな社会実験を開催します。

2016.11.24^{T_HU} ____ 25^{F_RI} **無 料**

24^{T_HU} 11:00 ____ 15:00 ミニ社会実験 & オープンワークショップ(雨天時は25日に実施)

車道の一部にテーブルやイスを配置し、誰でも自由に利用できる居場所スペースで、まちの将来について話を伺います。無料のコーヒー等も配布予定。

25^{F_RI} 18:30 ____ 21:00 トークセッション & ワークショップ

ゲストによる先進事例や海外事例を交えたトークセッションのあと、未来の神田のライフスタイル・ワークスタイルを語り合うワークショップを実施。

GUEST



ゲール・アーキテツ
クリエイティブディレクター | David Sim 氏

「人間中心のまちづくり」を提唱、いま世界中でその思想が注目されているヤン・ゲール。彼が主宰する「ゲール・アーキテツ」は、ニューヨークのタイムズスクエアをはじめ世界中の街の表情を一変させた。クリエイティブディレクターのDavid Simからのメッセージは今年発表された「東京都市白書」にも掲載されるなど、日本でも注目が集まっている。

GUEST



公共R不動産 | 馬場 正尊 氏

OpenA Ltd. 代表。東北芸術工科大学教授。建築設計、都市計画、執筆など幅広い活動を行う。「東京R不動産」「公共R不動産」などのサイトも運営。近著は『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』(学芸出版,2015)、『エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ』(学芸出版,2016)

トークセッション &
ワークショップ定員

40名

申込者が募集定員を上回った場合、参加する方の年齢や居住地、男女構成等を考慮したうえで、参加の可否を11月18日にご連絡します。

申し込み方法

氏名、年齢、性別、住所、電話番号、神田との関わりをEメールもしくはFAXで下記までお送りください。

Eメール | kanda-pj@ur-net.go.jp | F A X | 03-5323-0989

申込期限 2016.11.17^{T_HU}



トークセッション & ワークショップ会場 the C/C-Lounge
東京都千代田区内神田1-15-10 地下1階

神田警察通り賑わい社会実験とは

魅力的で賑わいのある将来の神田警察通りの実現に向けて、地域の方々や専門家と一緒に進めているプロジェクトです。2016年11月の通行者の行動調査やミニ社会実験、ワークショップをふまえて、2017年本格実施予定の社会実験に向けて、準備を進めています。

主催：神田警察通り賑わい社会実験実行委員会(神田警察通り沿道整備推進協議会・UR都市機構)

後援：千代田区 協力：共立女子大学・慶應義塾大学ラドヴィッチ研究室co+labo・公共R不動産・(株)コトブキ

お問い合わせ先：UR都市機構東日本都市再生本部 事業企画部 事業企画第Ⅰグループ(担当者：月岡・石垣)

電話番号：03-5323-0421 Eメール：kanda-pj@ur-net.go.jp